

令和3年8月27日

合志楓の森中学校 保護者 様

合志楓の森中学校 校長 瀧上 佳宏

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に伴い学校を休むことになった生徒への「学びの保障」等について

残暑の候、保護者の皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止に対しご理解とご協力をいただき、誠に感謝申し上げます。

学校では、昨日から前期後半の教育活動を再開したところですが、8月24日付けで県教育委員会より9月12日までの教育活動における対策見直しの通知が届き、より一層の感染防止対策に努めているところです。

その一貫として、本市の 中島 栄治 教育長から幾度となくお願いされていましたが、本人が感染した場合だけでなく、「本人または家族に発熱等の風邪症状がある」場合や「本人やご家族が接触者または濃厚接触者になった」場合など感染リスクが発生している場合は、学校をお休み（出席停止扱い）していただくことを、より強くお願いしていきたいと考えております。ただし、そのお休みが複数日にも渡る場合、当該生徒の「学びの保障」にも十分な配慮が必要となりますが、この度、本校では生徒各自のタブレットPCを活用し、自宅でオンライン学習を行うことができる体制が整いました。

つきましては、学校を休むことになった生徒に対して、希望により下記のとおりオンライン学習（授業のライブ配信）を行うこととしましたのでお知らせします。

なお、保健室からのマスク等に効果についての情報も併せてお知らせしますので、ご確認いただき、可能な限りご協力いただければ幸いです。

記

1 オンライン学習について

- (1) オンライン学習は、実技や実習など一部の学習活動を除き、全教科で実施する予定です。よって、登校した場合とほぼ同等の学習をすることができると考えております。
- (2) オンライン学習を希望する場合は、各学級の担任へその旨をご連絡ください。なお、オンラインが学習に参加した場合、その日は「出席扱い」とします。
- (3) 各自のタブレットPCを学校に置いたままにしていると、いざという時に活用できませんので、原則タブレットPCは毎日持ち帰るように指導します。
- (4) ご家庭にW I - F I 環境があることが前提となります。ご家庭のネットワーク環境が整っていない場合等は、モバイルルータの貸し出し等を検討しますので、学校にご相談ください。
- (5) 終日オンライン学習に参加する場合は、長時間のインターネット接続となります。ご家庭のネットワーク環境にデータ制限がある場合は、教科を限定することも検討しますので、学校にご相談ください。

2 マスク等の効果について

- マスクやフェイスシールドの効果について、裏面に資料を添付しています。このシミュレーション結果によれば、不織布マスクが最も効果が高いことが分かっています。一方、ウレタンマスクの感染防止効果は、かなり低い結果になっています。
本校としましては、今後ウレタンマスクではなく不織布マスクを推奨しますので、各ご家庭でもご配慮をお願いします。

■ マスクやフェイスシールドの効果 (スーパーコンピュータ「富岳」によるシミュレーション結果)

対策方法	なし	マスク			フェイスシールド	マウスシールド
		不織布 	布マスク 	ウレタン 		
	吐き出し飛沫量	100%	20%	18-34%	50%	80%
	吸い込み飛沫量	100%	30%	55-65%	60-70%	小さな飛沫に対しては効果なし (エアロゾルは防げない)

[ページの先頭へ戻る](#)

4. マスク・消毒液に関するもの

問1 マスクはどのような効果があるのでしょうか。

マスクの素材や、人と人の距離感等によって、マスクの効果には違いが生まれます。(※)ここでは御自身の目線で説明するため、便宜上、「飛沫を出

す側：自分」「飛沫を吸い込む側：相手」と記載します。

まず、マスクの素材ですが、一般的なマスクでは、不織布マスクが最も高い効果を持ちます。次に布マスク、その次にウレタンマスクの順に効果があります。もちろん、人の顔の形は千差万別ですので、同じ素材のマスクの間でも、自分の顔にぴったりとフィットしているマスクを選ぶことが重要です。また、マスクのフィルターのパフォーマンスや布の厚さなどによっても差が出ます。

次に、マスクは、相手のウイルス吸入量を減少させる効果より、自分からのウイルス拡散を防ぐ効果がより高くなります。仮に50センチの近距離に近づかざるを得なかった場合でも、相手だけがマスクを着用(布マスクで17%減、不織布マスクで47%減)するより、自分だけがマスクを着用(布マスク又は不織布マスクで7割以上減)する方が、より効果が高く、自分と相手の双方がマスクを着用することで、ウイルスの吸い込みを7割以上(双方が布マスクで7割減、不織布マスクで75%減)抑える研究結果があります。

特に、室内で会話を行う場合は、マスクを正しく着用する必要があります。また、屋外ならばマスクは不要ということではありません。感染防止に必要な「最低1メートル」の間隔を確保できない場合もありますので、やはりマスクは重要です。自分から相手への感染拡大を防ぐために、話す時はいつでもマスクを着用しましょう。

(参考)マスクの効果について

https://corona.go.jp/proposal/pdf/mask_kouka_20201215.pdf

(参考)マスクの効果に関する動画

<https://corona.go.jp/proposal/>

(参考)正しいマスクの付け方

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000593493.pdf>

<https://www.youtube.com/watch?v=VdyKX4eYba4>

お問合せ先

合志市立合志楓の森中学校

教 頭 高橋 (全般)

教務主任 井上 (オンライン学習関係)

保健主事 橋爪 (マスク関係)

TEL : 096-245-7738 FAX : 096-245-7171